

平成28年度(前期) 十文字学園女子大学

リカレント教育（開放授業講座）受講生募集について

リカレント教育とは？

埼玉県が行っている、高齢者や団塊世代の方々に、県内や近隣の大学の授業科目の一部を開放し、受講者の方々の生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指している事業です。

1. 受講資格

県内在住で昭和36年4月1日以前生まれの方

2. 単位等

単位は認定されません。

3. 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000 円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

4. 場所 十文字学園女子大学

※原則として、公共交通機関により通学してください。（自家用車による通学はご遠慮ください。）

5. 受講の申込み方法

- (1) 申込期限 平成28年3月19日（土）（消印有効）

- (2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28
十文字学園女子大学 地域連携推進課

- (3) 申込方法

往復はがきに以下の事項をもれなく記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 住所 (2) 氏名・ふりがな (3) 年齢（平成28年4月1日現在）
- (4) 性別 (5) 電話番号 (6) 受講希望科目・担当教員名（何科目でも可）

- (4) 選抜方法

定員を超える場合又は多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。

（受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

6. 本学におけるリカレント教育に関するお問い合わせ

十文字学園女子大学 地域連携推進課
TEL 048(477)0958（直通）

7. リカレント教育に関する総合的な問い合わせ先

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
埼玉県福祉部高齢介護課 総務・高齢企画担当
TEL 048(830)3263
FAX 048(831)1901

POINT

本学の学生が受講している授業を、学生と一緒に受講していただきます。
また、閲覧のみですが、図書館の利用も可能です。

8. 講座名・定員など

科目名	担当	実施時期	曜日	時限	定員	備考
児童学概論	渡邊 孝枝他	前期	土曜	1限	若干名	1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50
食と環境	徳野 裕子		火曜	2限		
児童家庭・福祉論	栗原 直樹		水曜	4限		
地域福祉論Ⅰ	佐藤 陽		金曜	4限		
ボランティア・コーディネーション	佐藤 陽		木曜	2限		
社会福祉概論Ⅰ	片居木 英人		火曜	4限		
社会保障論Ⅰ	片居木 英人		月曜	3限		
教育学概論A	狩野 浩二		月曜	2限		
教育方法A	狩野 浩二		金曜	4限		
特別支援教育概論	吉川 知夫		水曜	5限		
表現活動(基礎)	狩野 浩二他		火曜	3限		
文化と発達	池田 まさみ		金曜	4限		
グループダイナミクス	風間 文明		金曜	2限		
恋愛と結婚の科学	山下 倫実		水曜	2限		
人間関係の心理学	山下 倫実		月曜	4限		
障害者の心理学	伊藤 恵子		金曜	2限		
発達心理学外書購読	石田 有理		水曜	2限		
コミュニケーションの心理学	綿井 雅康		水曜	1限		
リハビリテーション論	布施 晴美		金曜	2限		
身体運動の心理学	平田 智秋		月曜	4限		
職場のメンタルヘルス	東畑 開人		水曜	1限		
ビジネス経済学	込江 雅彦		金曜	3限		
ライフコースと生活設計	大友 由紀子		水曜	2限		
日本と異文化	小林 実		火曜	4限		
舞台芸術A(ミュージカル論)	清水 玲子		金曜	2限		
神話・伝承学	武田 比呂男	水曜	4限			
日本語学入門	星野 祐子	月曜	3限			

※上記時間割は3/1現在のものになります。急な時間割変更が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月9日(土)から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

9. 各授業科目の概要及び担当教員

児童学概論(渡邊 孝枝助教他)

子どもを取り巻く社会・環境は大きく変化しています。生涯発達の基礎となる乳幼児期の子どもに必要な経験は何か、子どもについてより深く理解することが我々自身の理解につながります。本講座では幼児教育学専任教員が各自の専門領域から講義し、一般的な「子ども」像を崩し、より多面的に「子ども」について探究します。

食と環境（徳野 裕子准教授）

今、地球には 71 億人以上の人々が住んでいます。その人々を養うための食糧はどのくらい必要なのでしょう。日々人口が増え続ける中で、地球は果たして私たちを維持することができるのでしょうか。「私は地球に何をしていますか？」という質問に答えられるように、食の面から皆で考えて行きたいと思います。興味あるテーマを発表してもらい皆で話し合いながら進めていきます。

児童家庭・福祉論（栗原 直樹教授）

少子化社会が進み、子育ての重要性が説かれていますが、子どもは昔から大切に扱われてきた一方で、その権利について無頓着であった状況もあります。現在、子どもに関わる法律が 13 本もありますが、できる限りそれに触れながら「子どもの権利」等について理解を深めていきます。（テキスト；ミネルヴァ書房「児童や家庭に対する支援と子ども家庭福祉制度」）

地域福祉論 I（佐藤 陽教授）

地域の中で孤立する人々の問題がクローズアップされ、人と人との絆が改めて問われています。本論は、地域における人と人とのつながりの再構築と、様々な人や機関・団体の協力によって支え合う仕組みづくりに関する施策や地域福祉活動実践の実際から、地域福祉の考え方や推進する方法について学び、社会的包摂と共生のまちづくりの実現に向けて取り組む姿勢を養います。

ボランティア・コミュニケーション（佐藤 陽教授）

人と人とのつながり、人と社会のつながりが求められる今日、自ら主体的に参加する「支え合い」の営みの 1 つにボランティア活動があります。本科目は、ボランティアとその活動推進に必要なコーディネートーションの基本を理解します。

社会福祉概論 I（片居木 英人教授）

社会福祉の核心は「生存権とその保障としての国家責任の明確化」にあります。日本国憲法 13 条、14 条、25 条の理念をしっかりと社会福祉に活かしていくことが大事です。この授業はそこを踏まえながら公助・共助・自助をどのように組み合わせる現代の社会福祉を考えるのか探っていきたくと考えています。社会福祉へといたる歴史的展開にもふれながら分かりやすく、あらためて「社会福祉とは何か」についてみなさまと一緒にその理解を深めてまいります。

社会保障論 I（片居木 英人教授）

今、あらためて社会保障の存在意義が問われています。憲法 25 条の生存権保障と公的責任の明確化は、ますますその重要度を増しています。公的部門を中心とした社会的セーフティネットの制度設計をどのように組み立てていくのか、課題が大きく横たわっています。本授業では、社会保障の理念、役割、意義、範囲等への理解を深めていくなかで、負担と給付のあり方を問い、分権型福祉国家像の構築の可能性を探っていきたくと考えています。

教育学概論 A（狩野 浩二教授）

教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。テキストは田嶋一他編『新版補訂版やさしい教育原理』（有斐閣）です。教育の思想や歴史について、最新の教育学研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは各自購入してください。

教育方法（狩野 浩二教授）

教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。テキストは横須賀薫他編『新訂教育の方法・技術』（教育出版）です。教育に方法や技術が必要なのはどのようにするのかという課題について、最新の授業研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは各自購入してください。

特別支援教育概論（吉川 知夫准教授）

特別支援教育の推進に向けた取組が進む中、地域の通常の学校（学級）においても、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が求められています。本講義では、特別支援教育の歴史、法制度を概観するとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に関して、その障害の特性と支援方法を論じ、関係機関との連携の在り方を学びます。

表現活動（基礎）（狩野 浩二教授他）

教員を目指す学生たちに対して、教員として必要となる基礎的な表現力を養う科目です。教材は教室で配付します。斎藤喜博作詞、近藤幹雄作曲『利根川』（合唱曲集『子どもの四季』1979年、一莖書房所収）という作品を学生と一緒に学びます。歌唱や朗読などの表現活動に関する基礎的な技法を指導します。最終発表会は近隣の小学校等に出向いて行う予定です。

文化と発達（池田まさみ教授）

本講座では、「文化」と「教育」の観点から、子ども（乳幼児、児童、青年）の言語や表象、因果推論の発達について学びます。また、今日の子どもたちがかかえる困難や発達的問題について、家庭・地域・学校などでの支援のあり方を考えます。豊かな発達を実現するための環境や社会的条件とはどのようなものか、多角的に検討します。

グループ・ダイナミクス（風間 文明充教授）

グループ・ダイナミクスとは、集団およびその成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の1分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説していきます。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。

恋愛と結婚の科学（山下 倫実講師）

親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて関心の高い関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛や夫婦関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでを解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取り上げる予定です。日常の中で起こる現象を「科学的」に見る力を養います。

人間関係の心理学（山下 倫実講師）

私たちは人を好きになったり嫌いになったりします。社会心理学では、人に対して好意を感じることは人間関係を成立させるきっかけとなり、さらにその関係を親密な関係へと進める力を持つと考えます。本講義では、人間関係を進展させるきっかけとなる「魅力」に関する社会心理学的な実証研究について、その方法、実験結果などを詳しく解説します。

障害者の心理学（伊藤 恵子教授）

障害による機能的制約は、環境によって異なるため、適切な支援を行うことは極めて重要です。本科目は、適切な支援を行うための学習を通し、自らの生き方を考えます。具体的には、各障害の診断基準及び心理学的特徴に関して学習後、各障害の特徴に配慮した支援について受講者とともに考えていきます。『教育・保育・子育て支援のための発達臨床心理学』伊藤恵子著文化書房博文社を使用します。

発達心理学外書購読（石田 有理講師）

本講座では、英語の心理学文献を読むことを通じて、さまざまな文化での子どもの発達やそれにもなう心理学的な諸問題について理解していきます。比較的平易な英語で書かれた発達心理学と臨床心理学に関する文章を読み進めながら、基本的な心理学の知識を身につけ、様々な心理学に関する英語文献を読める基礎体力を養います。

<p>コミュニケーションの心理学（綿井 雅康教授）</p>
<p>私たちが日常生活のなかで何気なく行っている様々なコミュニケーションを心理学の視点から客観的にとらえ直します。コミュニケーションのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのかについて、明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べます。</p>
<p>リハビリテーション論（布施 晴美教授）</p>
<p>リハビリテーションの基盤となる理念は、人権の保障であり、心身に障がいのある人々が残存能力を発揮し、潤いのある豊かな生活を実現することです。本授業では、リハビリテーションに関する基本事項について学習し、ノーマライゼーションの原理やQOLに視点をおき、リハビリテーションを通して機能回復を図るばかりではなく、人間らしく生きる権利の回復を図ることについて理解を深めることを目的とした講義を展開します。また、心理面におけるリハビリテーションについても触れます。</p>
<p>身体運動の心理学（平田 智秋准教授）</p>
<p>身体と心、脳に関する話題を概観しながら、柔軟な人間観を養います。心について深く考えるには、身体運動の基礎知識が不可欠です。大まかな内容としては、1)身体が動く仕組み（筋骨格系から脳までの機能と構造）、2)運動制御と運動学習の仕組み、3)身体運動と心理学との関わりを学び、改めて人間を見直し、心の多様さについて考えます。純粋な講義ではなく、簡単な実験や演習を折り込みながら授業を進めます。</p>
<p>職場のメンタルヘルス（東畑 開人講師）</p>
<p>働く人のこころの危機とそのケアを学びます。会社などの職場でストレスはなぜ生まれるのか、そのストレスはどのようにしてケアされるのかが問いです。大阪商工会議所編「メンタルヘルス・マネジメント検定試験 公式テキストⅢ種セルフケアコース」中央経済社を教科書にして、資格取得も目指します。</p>
<p>ビジネス経済学（込江 雅彦准教授）</p>
<p>現在の様々な経済問題を考察するうえで基礎となる考え方を講義します。そのため、現実に起きた問題、世界金融危機や消費税増税に見る財政赤字の問題、経済連携の動きなどから経済学の理論を講義し多様な考え方を知り自ら考える力を養うことを目指します。</p>
<p>ライフコースと生活設計（大友 由紀子教授）</p>
<p>未婚晩婚化、少子高齢化によって、個人の生き方は多様になりました。女性の生き方も、家庭と職業との兼ね合いから、専業主婦型、再就職型、両立型、DINKS型、非婚就業型があると言われます。また、新自由主義による雇用流動化によって、若者たちの経済格差、結婚格差が拡大しています。長期化するライフコースのゆくえを社会調査や社会統計のデータを使って読み解いていきます。</p>
<p>日本と異文化（小林 実准教授）</p>
<p>中国生まれのギョーザは、今や日本の国民食と言っても過言ではないように、「日本文化」は深く異文化とつながっています。そうした観点からなにを学ぶべきなのか？ 義経＝ジンギスカン伝説からB級グルメまで、さまざまな事例を取り上げながら、日本人の外国表象（イメージ化）、異文化の土着化など日本人と異文化との関わり方について論じていきます。</p>
<p>ミュージカル論（清水 玲子教授）</p>
<p>ニューヨークやロンドンと同じく日本でも最近ミュージカルの観劇人口が増え、外国作品だけでなく日本のオリジナル作品もたくさん上演されています。本講座では、オペラから発展し20世紀にアメリカで始まったミュージカルを、歴史と音楽を中心として、また作品の傾向などを分析していきます。希望者のみ観劇予定もあります。</p>

神話・伝承学（武田 比呂男教授）

神話・伝承って、どんなイメージでしょうか？面白い、でも荒唐無稽で実際にはあり得ないお話？モノガタリする存在である人間は、神話や伝承によって、世界と自分たちの関係を理解し、調整しながら生きてきたのです。『古事記』『風土記』などの神話やさまざまな伝説・昔話、寺社縁起などを読み、その独自の表現や想像力の働き方を理解し、神話や伝承を生み出した人々の精神世界を探求します。（テキスト：斎藤英喜編『神話・伝承学への招待』思文閣出版、税別 2,300 円）

日本語学入門（星野 祐子准教授）

私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはずです。テキストは『やさしい日本語のしくみ』（庵功雄他著、くろしお出版）を使います。

10. アクセス



※駐車場のご用意が出来ませんので公共交通機関でのご来校をお願いいたします。